

「せきやびぜんそく」急増中

せき止め薬を飲んでも、激しいせきが止まらず、夜も眠れない……。そんな症状に心当たりのある人は、この病気を疑ったほうがよさそう。

はじめて聞く病名だった。「これは『せきぜんそく』になっっているかも知れない」元日本テレビアナウンサーでタレントの大神いずみさん(40)は昨年2月、かかりつけの医院でそう診断された。

「えっ、何？って感じでした。友だちに聞いたら『私もそうだった』というのがあまりに多いので、びっくりしました」

せきぜんそく。耳慣れない病名だが、患者は増えている。呼吸器科が専門で中田クリニック(東京都千代田区)院長の中田絏一郎医師は説明する。「せきぜんそくは、気管支ぜんそくと病名は似ていますが、まったく別の病気です」

苦しくなる。一方、せきぜんそくは、激しいせきだけが続き、ひとたび発作が起きると、せきはなかなか止まらず、たんを伴わない空せきが3〜4週間、ときには数カ月続くこともある。

「このままどうなってしまうんだらうって思いました」と、大神さんはせきぜんそくに苦しんだ日々を振り返る。何しろ、せき込むうちに声がかすれ、しまいには出なくなっ



普通のせき止め薬では、まず治らない。放置すると気管支ぜんそくへと悪化する可能性がある。治療には吸入ステロイド剤などを使用する

てしまった。夜中もせきは途切れず、明け方まで眠れない。激しいせきで胸のあたりがヒリヒリと痛み、苦しくて動けず、昼間も布団から出られなくなった。その横で2歳の息子はおなかをすかせ、おむつを替えてくれ

「原因はアレルギーか」通信関連業界で働く岡田義人さん(35)は昨年発症した。「変な病気にかかったんじゃないかって、ずっと恐怖感を抱えてました」

「本当にすらかったです」この病気は風邪をきっかけに発症するケースが多い。風邪を引き、熱や鼻水は治まったのに、せきだけが止まらないのだ。

「なぜ近年急増したのか？」中田医師が最大の要因として挙げるのが、大気汚染だ。「とくにディーゼル車が出す大

「このままどうなってしまうんだらうって思いました」と、大神さんはせきぜんそくに苦しんだ日々を振り返る。何しろ、せき込むうちに声がかすれ、しまいには出なくなっ

も出た。患者は1日2回、口から吸入することで、症状をコントロールできるようになった。先の中田医師は予防法として次の3点を挙げる。

気汚染物質の排気微粒子により、スギ花粉やダニなどの吸入抗原に対し抗体を作りやすい体質になったと考えられる。家屋の気密化とエアコンによって、ほこり、ダニ、カビなどアレルギーの原因物質が増殖しやすくなったのも一因です」

2006年10月。モエさんは風邪を引いた後、せきが止まないので会社近くの内科・呼吸器科の医院で診察を受けた。

耳鼻咽喉科で診察を受け、鼻のレントゲンも撮ったが、副鼻腔炎でもなかった。「どうして原因がわからないのですか？」

「総合病院も含め何カ所か病院に行ったものの改善しなかった。たまたま近所の内科でせきぜんそくと診断されなければ、原因不明のせきに悩まされ続けたでしょう」

3カ所目で診断確定

モエさんが尋ねると、医師は

厄介なのは、この病気が認知度が低いので、風邪だと思いつ

「世の中、原因や理由がわかることばかりではない」

「伝染の恐れはないが」

「せきぜんそくは感染症ではないので、『百日せき』のように他人にうつる恐れはない。ただし、放置しておくとうつ管支ぜんそくに移行するリスクが指摘されている。早めの処置が必要だ。

「せきぜんそくを持つている人は、風邪の症状が出たら早め

からず、聴診でも雑音は聞こえない。そのため医師でさえ風邪と誤診しやすく、風邪薬や強いせき止めを処方しても、ほとんど効かない。

「この医院は頼りない。そう思い、市立の総合病院の呼吸器科に行った。肺のレントゲンを撮り、アレルギー検査も受けたが、原因がわからない。『副鼻腔炎』からくるせきかもしれない。医師にそう言われ、同じ病院内の

「長い間、医師にもせきが止まらない苦しみをわかってもらえず、精神的につらかったです」

「治療は、ステロイド吸入薬、気管支拡張薬、ロイコトリエン拮抗薬(アレルギーを誘発する体内の物質ロイコトリエンの反応を抑える薬)の三つが柱だ。一昨年、ステロイド薬と気管支

「せきぜんそくは感染症ではないので、『百日せき』のように他人にうつる恐れはない。ただし、放置しておくとうつ管支ぜんそくに移行するリスクが指摘されている。早めの処置が必要だ。

人材サービス会社で働くモエさん(35)は、せきぜんそくと診断されるまで三つの病院を渡り歩いた。

「長い間、医師にもせきが止まらない苦しみをわかってもらえず、精神的につらかったです」

「せきぜんそくは感染症ではないので、『百日せき』のように他人にうつる恐れはない。ただし、放置しておくとうつ管支ぜんそくに移行するリスクが指摘されている。早めの処置が必要だ。

「せきぜんそくは感染症ではないので、『百日せき』のように他人にうつる恐れはない。ただし、放置しておくとうつ管支ぜんそくに移行するリスクが指摘されている。早めの処置が必要だ。

「せきぜんそくは感染症ではないので、『百日せき』のように他人にうつる恐れはない。ただし、放置しておくとうつ管支ぜんそくに移行するリスクが指摘されている。早めの処置が必要だ。